

氏名	加藤 篤之
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 7573 号
学位授与の日付	2026年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 医歯薬学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Clinical and endocrine features of orthostatic intolerance detected in patients with long COVID (Long COVID に認められる起立不耐症の臨床的・内分泌学的特徴の検討)
論文審査委員	教授 大橋俊孝 教授 高木 学 准教授 岡田あゆみ

学位論文内容の要旨

Long COVID は、新型コロナウイルス感染後、数ヶ月を経ても持続する倦怠感・頭痛・不眠などの症状を呈するが、その病態は十分に解明されていない。本研究では、Long COVID に関連した OI (Orthostatic intolerance: OI) を疑い起立試験 (Standing test: ST) を実施した 86 名を後方視的に解析した。症状を訴えた患者のうち、33 人 (38%) の人が起立試験陽性となっており、そのうち約半数である 16 人 (48.5%) が 20 歳未満の若年者であった。内分泌検査では、20 歳以上の ST 陽性患者の血清コルチゾール値は ST 陰性群よりも高く、20 歳未満の患者では、血清成長ホルモンの値が有意に低下していた。ST 陽性者において嘔気・頻脈の随伴症状を多く認めた。ST 陽性群の拡張期血圧は一過性だが ST 陰性群より有意に大きい上昇を認めた。以上より、不明瞭であったコロナ後遺症における若年者の自律神経症状の特徴と、その内分泌学的変化が新たに示された。

論文審査結果の要旨

Long COVID とは、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) から回復した後も、倦怠感、頭痛、不眠などの様々な症状が、他の疾患では説明できない形で長期間持続したり、再発したりする状態を指す。OI (Orthostatic intolerance: OI) は Long COVID における重要な症状の一つであるが、その臨床的特徴と発症機序については十分明らかになっていない。

本研究では、Long COVID に関連した OI を疑い起立試験 (Standing test: ST) を実施した 86 名を後方視的に解析した。症状を訴えた患者のうち、33 人 (38%) の人が起立試験陽性となっており、そのうち約半数である 16 人 (48.5%) が 20 歳未満の若年者であった。内分泌検査では、20 歳以上の ST 陽性患者の血清コルチゾール値は ST 陰性群よりも高く、20 歳未満の患者では、血清成長ホルモンの値が有意に低下していた。ST 陽性者において嘔気・頻脈の随伴症状を多く認めた。ST 陽性群の拡張期血圧は一過性だが ST 陰性群より有意に大きい上昇を認めた。

本研究は、自律神経症状、起立後の心拍数増加に伴う一過性の拡張期血圧上昇、および内分泌機能障害は、Long COVID に関連する OI の検出に有用であることが示された価値のある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。